科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
1501200	道徳教育の理論と実践 Theory and Practice of Moral Education	近藤　茂明	専門	2	選択	3年 後期

科目の概要

本授業では教師の資質能力の育成を目指し、道徳教育の理論とその実践に関わる基本的概念・内容を理解させる。その実践的内容については、学習指導案づくりや模擬授業の検討等の体験学習を通して行う。また、毎授業の進め方は基礎的内容の理解を土台として行い、必要に応じて適宜話し合い活動等を取り込んで、実践的な理解の習得や主体的な態度の育成にもつなげていく。

学修内容	到達目標
① 道徳教育の理論と実践に関する基本的概念・内容を理解する。 ② 基礎的内容の理解を土台として、実践的な内容を通した具体的な学習活動（体験）を行う。 ③ 話し合い活動や文章記述等の言葉による表現活動を通して、自他の考えを深め合う。	① 教育思想史を代表する人物を通してその特徴を理解することができる。 ② 学習内容の理解を基に、自分自身の被教育経験と重ね合わせて考えることができる。 ③ 集団的な学習活動を通して様々な考えを比較し、自分の考えを言葉で整理して表現することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自分自身の被教育経験、実生活、様々な関心と結びつけながら、学習活動や自己学習に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	自分の願いに沿った目標設定を行い、根気よく学習活動に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題だけにとらわれることなく、自ら新たな課題を見出すことができる。
	計画力	
	創造力	学習課題等に対して柔軟で多様な考え方で取り組むことができる。
チームで働く力	発信力	グループワークや全体発表において、自分の考えを整理して表現することができる。
	傾聴力	グループワークや全体発表において、他者と自分の考えを比較しながら、より深い考えを導き出すことができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	遅刻や私語等、授業に支障をきたす行動を自粛して、円滑な学習活動を心がけることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：特に使用しない。必要な資料は授業中に配布する。
参考文献：必要に応じて、授業中に適宜紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他教科との関連（専門）：教育原理（1年）、教育方法論（2年）、教育課程・特別活動論（3年）、教育実習（4年）
資格との関連：中学校ならびに高等学校教諭一種免許状(家庭)

学修上の助言	受講生とのルール
・毎授業中のグループワークや全体発表では、積極的な意見交流を心がけるとよい。 ・毎時間の学習内容は、予復習(課題)において関連する情報収集を積極的に行うとよい。	・毎授業で配付する学習資料の予備は前回分しか保管しないので、忘れた際には出席者にコピーをもらう。 ・授業開始時には必ず携帯電話の電源を切るとともに、授業に向かう気持ちの切り替えを行う。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験	40	①	レ	・設問内容の趣旨を理解し、授業内容をふまえて自分の見解を論理的に展開し、記述しているかを評価する。 ・以下の4項目の記述ポイントを合格の基準とする。 ・授業内容を基に記述しているか。 ・論点を整理して記述しているか。 ・自らの被教育（学習）経験をふまえて記述しているか。 ・自ら考えた代替案等を具体的に提示しているか。 （4項目＋独創性＝S、4項目＝A、3項目＝B、2項目＝C、1項目以下＝F）
		②		
		③		
小テスト				
レポート	40	①	レ	・毎授業の最後に振り返りとして行う小レポートの点数を平均して判定する。（授業内容を基に、自分の考えをどこまで整理し深めることができたかを判定する）
		②	レ	
		③		
成果発表（口頭・実技）	10	①		・グループワークや全体発表における表現内容・方法の明確さを評価する。 ・話し合い活動を高めていくための意見発表等における貢献度も評定として加える。
		②	レ	
		③	レ	
作品				
社会人基礎力（学修態度）	10	①	レ	（主体性） ・予習時に学習課題を自分自身の経験や関心に引きつけて取り組むことができる。 （実行力） ・復習時に明確な目標設定を行い、根気よく取り組むことができる。 （課題発見力） ・復習時に課題を広げ深め、自分の学習課題を発展させることができる。 （創造力） ・授業中に他者の考えを柔軟に受け入れ、多様な学習活動に取り組むことができる。 （発信力） ・授業中に自分の考えを整理し、相手に分かりやすく伝えることができる。 （傾聴力） ・授業中に相手の考えのよさを受け入れ、自分の考えを深めることができる。 （規律性） ・授業全体で遅刻や私語を自粛し、円滑な学習活動を進めることができる。 ・毎時間の提出物を期限内に確実に出すことができる。
		②		
		③		
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS（秀）及びA（優）の基準	到達レベルB（良）の基準
・筆記試験において、論点を明確に整理して、自分の考えを論理的に記述できている。 ・小レポートにおいて、該当授業の要点を的確にまとめ、焦点を絞って自分の考えを振り返ることができている。 ・話し合い活動や発表において、他者を受け入れながら、多様な考えを表現することができている。 ・授業参加において、全体の学習活動の高めていこうとする積極的な態度をもって授業に貢献することができている。 ・提出物に対する取り組みにおいて、学習を深めようとする姿勢ならびに成果を確実に示している。	・筆記試験において、論点をふまえ、自分の考えを記述できている。 ・小レポートにおいて、該当授業の内容に触れ、自分の考えを振り返ることができている。 ・話し合い活動や発表において、自分の考えを整理して表現することができている。 ・授業参加において、自分自身を自制した態度で、学習活動に取り組むことができている。 ・提出に対する取り組みにおいて、提出期限を守って進めている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週/	・本授業の全体概要と進め方、留意事項を理解する。 ・新聞記事等の資料をもとに、小中学校の被教育経験を振り返り、道徳教育のとらえ方を整理する。	・ガイダンス ・講義 ・質疑応答	・本授業全体の目的、進め方、留意点を理解することができる。	(予習) シラバスに目を通し、本授業全体の概要を理解する。 (復習) 本時の学習内容をノートにまとめる。	90 90	規律性
2週/	・道徳教育の歴史①として、日本の戦前の道徳教育(学制、修身教育、教育勅語等)の概容を理解する。	・講義 ・質疑応答	・戦前の道徳教育の特徴的概要を理解することができる。	(予習) 修身教育、教育勅語について調べる。 (復習) 戦前の道徳教育のあり方を整理する	90 90	実行力 創造力
3週/	・道徳教育の歴史②として、日本の戦後の道徳教育(道徳の時間の特設の経緯等)の概容を理解する。	・講義 ・質疑応答 ・復習のまとめ発表	・戦前と戦後の道徳教育の特徴を比較して理解することができる。	(予習) 道徳の時間の特設について調べる。 (復習) 戦後の道徳教育の展開を整理する。	90 90	課題発見力 発信力
4週/	・道徳教育の特徴(道徳の時間の特設～特別の教科道徳)について、学習指導要領の変遷をもとに整理する。	・講義 ・質疑応答 ・復習のまとめ発表	・学習指導要領の変遷を基に、今日の道徳教育に至る経緯を理解することができる。	(予習) 中学校指導要領(道徳編)を通読する。 (復習) 「特別の教科道徳」の特徴を調べる。	90 90	実行力 創造力
5週/	・道徳性の発達理論(ピアジェ、ブル、コールバーグ等)の概容を理解する。	・講義 ・質疑応答 ・復習のまとめ発表	・子どもの道徳性の発達に関する特徴に気づくことができる。	(予習) 道徳性の発達の諸理論を調べる。 (復習) 関心のある発達理論をさらに調べる。	90 90	課題発見力 発信力
6週/	・道徳教育の授業理論①として一般的な読み物教材による道徳授業ついて理解し、検討を加える。	・講義 ・質疑応答 ・復習のまとめ発表	・読み物教材による授業理論の特徴を理解することができる。	(予習) 道徳教育の被教育経験について振り返る。 (復習) 読み物教材の特徴を整理する。	90 90	主体性 創造力
7週/	・道徳教育の授業理論②としてロールプレイ(役割演技)による道徳授業について理解し、検討を加える。	・講義 ・質疑応答 ・復習のまとめ発表	・ロールプレイによる授業理論の特徴を理解することができる。	(予習) ロールプレイ型授業実践例を調べる。 (復習) ロールプレイの特徴を整理する。	90 90	主体性 発信力
8週/	・道徳教育の授業理論③としてモラルジレンマ型の道徳授業について理解し、検討を加える。	・講義 ・質疑応答 ・復習のまとめ発表	・モラルジレンマ型の授業理論の特徴を理解することができる。	(予習) モラルジレンマ型授業を調べる。 (復習) モラルジレンマの特徴を整理する。	90 90	規律性

能力名:主体性　働きかけ力　実行力　課題発見力　計画力　創造力　発信力　傾聴力　柔軟性　情況把握力　規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	・道徳の授業づくりにおける基本的な指導法や技術等について考える。	・講義 ・質疑応答 ・復習のまとめ発表	・道徳の授業づくりを行うポイントを理解することができる。	(予習) 道徳の授業づくりをの指導法・技術を調べる。 (復習) 道徳の授業づくりの指導を整理する。	90 90	実行力 創造力
10週 /	・道徳の学習指導案づくり①として、指導案の基本的な枠組みや書き方を理解する。	・講義 ・質疑応答 ・復習のまとめ発表	・道徳の学習指導案の特徴を理解することができる。	(予習) 道徳の学習指導案例を探し、その特徴をまとめる。 (復習) 指導案の書き方の要点を整理する。	90 90	課題発見力 発信力
11週 /	・道徳の学習指導案づくり②として、主題設定をもとに指導案づくりを行う。	・個人活動	・自分の考えを整理した指導案づくりを行うことができる。	(予習) 個人の学習指導案を作成する。 (復習) 指導案づくりの重要点をまとめる。	90 90	実行力 創造力
12週 /	・道徳の学習指導案づくり③として、指導案の諸細について検討を行う。	・個人活動	・前時に作成した指導案の課題を見つけ修正することができる。	(予習) 前時に作成した指導案の課題を整理する。 (復習) 修正指導案を完成させ発表準備を行う。	90 90	課題発見力 発信力
13週 /	・模擬授業①として、11～12週に作成した学習指導案のグループAの模擬授業を行い、道徳授業の進め方の検討を行う。	・個人発表 ・質疑応答	・模擬授業を通して、道徳の授業の進め方に関する基本を理解することができる。	(予習) グループAの学習指導案を熟読し、課題設定を行う。 (復習) グループAの課題を整理する。	90 90	主体性 創造力
14週 /	・模擬授業①として、11～12週に作成した学習指導案のグループBの模擬授業を行い、道徳授業の進め方の検討を行う。	・個人発表 ・質疑応答	・模擬授業を通して、道徳の授業の進め方に関する基本を理解することができる。	(予習) グループBの学習指導案を熟読し、課題設定を行う。 (復習) グループBの課題を整理する。	90 90	主体性 発信力
15週 /	・模擬授業①として、11～12週に作成した学習指導案のグループCの模擬授業を行い、道徳授業の進め方の検討を行う。 ・本授業の全体総括として、これからの道徳養育のあり方について考えを深め合う。	・個人発表 ・質疑応答 ・全体総括	・これからの道徳教育を進める上で大切なことをまとめることができる。	(予習) グループCの学習指導案を熟読し、課題設定を行う。 (復習) グループCの課題を整理する。 本授業全体の学習内容をまとめる。	90 90	発信力 傾聴力

能力名:主体性　働きかけ力　実行力　課題発見力　計画力　創造力　発信力　傾聴力　柔軟性　情況把握力　規律性
ストレスコントロール力